

**B 個別学習（B1）**

## 主な学習活動

「たこ」の事例を読んで、「居場所・体の特徴・隠れ方」について図鑑カードにまとめる。

**1 本時のねらい**

「たこ」の「居場所・体の特徴・隠れ方」について、図鑑カードにまとめる活動を通して、文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。

**2 主に活用したICT機器・コンテンツ等**

プレゼンテーション

ファイル共有

**3 参考にしてほしいポイント**

図鑑カードをロイロノート「共同編集モード」で編集するか紙に書くかを選択できるようにし、自分の能力や興味・関心に応じて児童が図鑑カード作りに取り組むことができる。

段階 場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	たこの居場所・体の特徴・隠れ方を本文から選び出し、重要な語や文をロイロノートで編集するか紙に書くか選択して図鑑カードにまとめる。	（ロイロノート）本文にある「居場所・体の特徴・隠れ方」を3色に色分けしてサイドラインを引く。「共同編集モード」で、教科書から読み取ったことを図鑑カードにまとめる。図鑑カードを作成し終わった児童から、他の生き物についても調べられるよう資料を与え、同様の視点でサイドラインを引く。



3色に色分けして、サイドラインを引く。



ぼくは、全部文も絵もかいて手作りの図鑑カードにしたいな。

書くのが苦手だけど、キーボードで打つことならぼくにもできそうだな。

**4 活用効果**

端末上で操作したことで、児童は抵抗なくラインを引いたり消したりすることができた。また、端末上で図鑑カードを作成できるようにしたことで、ひらがなを書くことがまだ難しいような個別支援が必要な児童も、抵抗なく意欲的に図鑑カードを作成することができた。1つの図鑑カードが完成した児童に他の資料を与えたことにより、「たこ」の図鑑カード作りの時に気を付けたことを生かして、重要な語や文を考えて選び出すことができた。

**5 アドバイザーからのコメント**

紙に書くのかタブレットで入力するのを選択させていることは、この年齢の子どもたちにとって選択肢を増やすことになるので優れています。この単元の目的は、文章の中の重要な語を選び出すことなので、なぜ選び出したかを対話させると効果的であろうと思います。（東京工業大学 赤堀侃司）

デジタル化された内容は書き込みや変更が容易であり、手書きやペンでの書き込みが多い低学年では特に有効に働くことが期待されます。協同場面を設けて他者の考えに触れられるようにしていくと、上位学年でその経験が役立ちそうです。（福島大学 平中宏典）